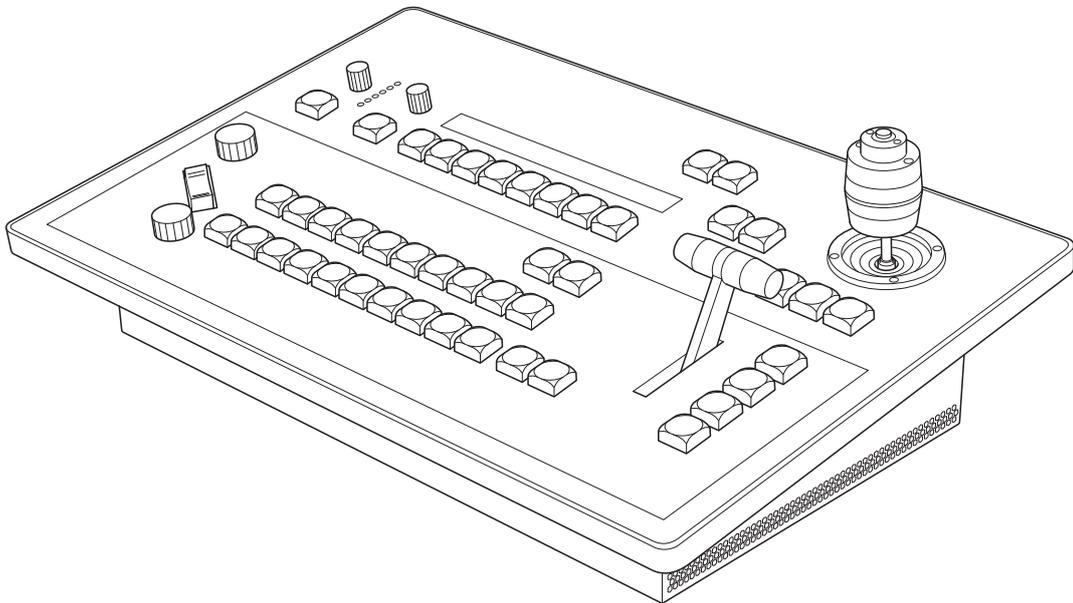


# Panasonic®

## 取扱説明書 簡易版

ライブプロダクションセンター

品番 AV-HLC100



このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

■取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。

■ご使用前に「安全上のご注意」（4～6ページ）を必ずお読みください。

■保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。

### 保証書付き

製造番号は、品質管理上重要なものです。製品本体と保証書の製造番号をお確かめください。

### 簡易版 取扱説明書

詳細は、当社 Web サイト (<https://pro-av.panasonic.net/manual/jp/index.html>) に掲載されている取扱説明書 (PDF) を参照してください。

---

## ■ 著作権について

本機に含まれるソフトウェアの譲渡、コピー、逆アセンブル、逆コンパイル、リバースエンジニアリング、並びに輸出法令に違反した輸出行為には禁じられています。

## ■ 略称について

本書では、以下の略称を使用しています。

- パーソナルコンピューターを「コンピューター」と記載しています。

## ■ 本書内のイラストや画面表示について

- イラストや画面表示は、実際と異なる場合があります。

# もくじ

---

安全上のご注意	4
電源プラグの接地に関するご注意	6
付属品	6
使用上のお願い	6
1. 各部の名前とはたらき	7
1-1. 制御パネル部	7
1-2. 背面部	11
1-3. Live操作 (Live Desktop) GUI画面	12
2. 外形寸法図	13
3. 定格	14
4. 保証とアフターサービス (よくお読みください)	15
修理を依頼される時	15

この装置は、クラスA機器です。この装置を住宅環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

VCCI-A

## 安全上のご注意 必ずお守りください。

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

### ■ 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

 <b>警告</b>	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
 <b>注意</b>	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

### ■ お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

	してはいけない内容です。
	実行しなければならない内容です。

## **警告**

### 本機は…

 電源プラグ を抜く	<b>■ 異常があったときは、ACアダプターの電源プラグを抜く</b> 〔 内部に金属や水などの液体、異物が入ったとき、落下などで外装ケースが破損したとき、煙や異臭、異音などが出たとき 〕 (そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。) ⇒ ACアダプターに簡単に手が届くようにしてください。 ⇒ 販売店にご相談ください。
	<b>■ 可燃性・爆発性・引火性のガスなどのある場所で使わない</b> (火災の原因になります。) ⇒ 粉じんの発生する場所でも使わないでください。
	<b>■ 電源を入れたまま長時間直接接触して使用しない</b> (本機の温度の高い部分に、長時間直接接触していると低温やけど※の原因になります。) ※ 血流状態が悪い人(血管障害、血液循環不良、糖尿病、強い圧迫を受けている)や、皮膚感覚が弱い人などは、低温やけどになりやすい傾向があります。
 接触禁止	<b>■ 雷が鳴り出したら、本機の金属部やACアダプターなどの電源プラグに触れない</b> (落雷すると、感電につながります。)
 分解禁止	<b>■ 分解や改造をしない</b> (火災や感電の原因になります。また、使用機器を損傷することがあります。) ⇒ 点検・整備・修理は、お買い上げの販売店にご依頼ください。
 水場使用禁止	<b>■ 水場で使用しない</b> (火災・感電の原因になります。)
	<b>■ 本機がぬれたり、水などの液体や異物が入らないようにする</b> (火災や感電の原因になります。) ⇒ 雨天・降雪・海岸・水辺での使用は、特にご注意ください。 ⇒ 機器の上や近くに、水などの液体が入った花瓶などの容器を置かないでください。

## ⚠ 警告 (つづき)

付属の電源コードやACアダプターは…	
	<p>■ 付属の電源コードは、本機以外の機器では使用しない (付属の電源コードを本機以外の機器で使用すると、発熱により、感電・火災の原因になることがあります。)</p> <p>■ 電源プラグを破損するようなことはしない [ 傷つける、加工する、高温部や熱器具に近づけるなど ]</p> <p>■ 傷んだ電源プラグやゆるんだ電源コンセントのまま使用しない</p> <p>■ たこ足配線等コンセントや配線機器の定格を超える使い方や、交流 100 V 以外での使用はしない (火災や感電の原因になります。) ⇒ ACアダプターの修理は、お買い上げの販売店にご相談ください。</p>
 ぬれ手禁止	<p>■ ぬれた手で電源プラグに触れない (火災や感電の原因になります。)</p>
	<p>■ 電源プラグは、根元まで確実に差し込む (差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。) ⇒ 傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは、使わないでください。</p> <p>■ 電源プラグのほこり等は定期的にとる (プラグにほこり等がたまると、湿気等で絶縁不良となり、火災の原因になります。) ⇒ 電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。</p>

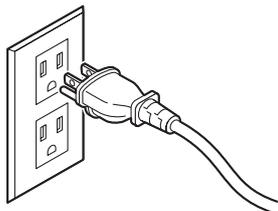
## ⚠ 注意

	<p>■ 本機の放熱を妨げない [ 押し入れや本箱など、狭いところに入れない、テーブルクロスを掛けたり、じゅうたんや布団の上に乗らない ] (内部に熱がこもり、火災の原因になります。)</p> <p>■ 直射日光の当たる場所や異常に温度が高くなる場所に置かない (特に真夏の車内、車のトランクの中は、想像以上に高温(約 60 °C 以上)になります。絶対に放置しないでください。外装ケースや内部部品が劣化するほか、火災の原因になることがあります。)</p> <p>■ 油煙や湯気、湿気やほこりの多い場所に置かない (火災や感電の原因になります。)</p> <p>■ 電源プラグやコネクターを抜くときは、コードを引っ張らない (コードが傷つき、火災や感電の原因になります。) ⇒ 必ずプラグやコネクターを持って抜いてください。</p> <p>■ 本機の上に重いものを置いたり、乗ったりしない (落下したり倒れたりして壊れ、けがの原因になります。) (重さで外装ケースが変形し、内部部品が破損すると、火災・故障の原因になります。)</p> <p>■ コードを下にたらしたり、接続したコードを通路で引き回したりしない (足などを引っ掛けると、コードが傷つき、火災や感電の原因になります。また、けがの原因になります。)</p> <p>■ コードを接続した状態で移動しない (コードが引っかかってけがの原因になります。)</p>
	<p>■ 病院内では、病院の指示に従う (本機からの電磁波などにより、計器類に影響を及ぼすことがあります。)</p>
 電源プラグを抜く	<p>■ 長期間使用しないときや、お手入れのときは、ACアダプターの電源プラグをコンセントから抜く (火災や感電の原因になります。)</p>

## 安全上のご注意 (つづき)

### 電源プラグの接地に関するご注意

- 本機に付属されているACコードは、接地端子を備えた3ピンのコンセントに接続してください。



海外で使用する場合は、その国に合った接地端子付ACコードを準備してください。

## 付属品

付属品をご確認ください。

- 包装材料は、商品を取り出したあと、適切に処理してください。

● ACアダプター.....	1
● 電源コード.....	1

● キーボード.....	1
● マウス.....	1

## 使用上のお願い

### ■ ご使用条件

AV-HLC100は、プロ用オーディオ・ビデオ機器を安全に操作できる大人によって、またはその監督下でのみ使用されることを前提として設計されています。

### ■ 取り扱いにはいねいに

落としたり、強い衝撃や振動を与えないでください。また、フェーダーレバーを持って持ち運びや移動はしないでください。故障や事故の原因になります。

### ■ 使用温度範囲は、0℃～40℃でお使いください。

0℃を下回る寒いところや、40℃を超える暑いところでは内部の部品に悪影響を与えるおそれがあります。

### ■ ケーブルの抜き差しは電源を切って

ケーブルの抜き差しは、必ず機器の電源を切ってから行ってください。

### ■ 湿気、ホコリの少ないところで

湿気、ホコリの多いところは、内部の部品がいたみやすくなりますのでさけてください。

### ■ お手入れは

電源を切って乾いた布で拭いてください。汚れが取れにくいときは、うすめた台所用洗剤(中性)を布にしみ込ませ、よく絞り、軽く拭いた後、水拭きしてから、乾いた布で拭いてください。

#### お願い

- ベンジンやシンナーなど揮発性のものは使用しないでください。
- 化学ぞうきんを使用するときは、その注意事項をよくお読みください。

### ■ 制作時のご注意

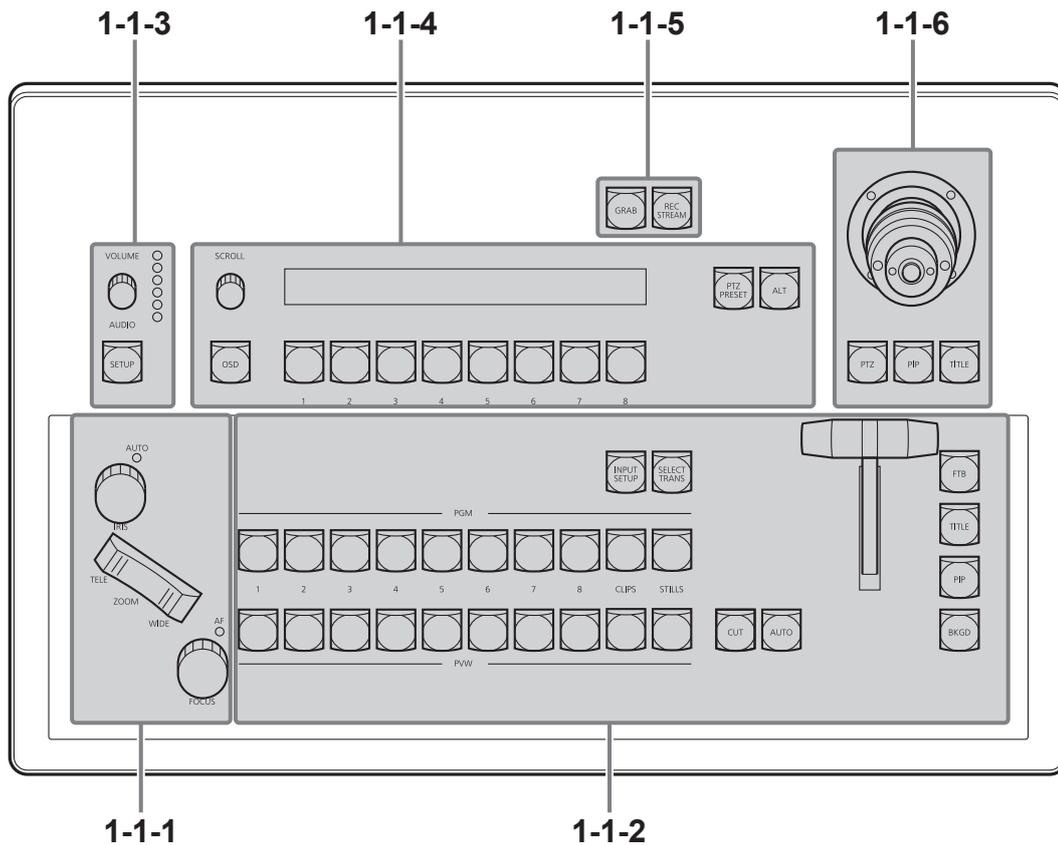
本機の映像切り替え機能や映像効果機能を用いると、細かく点滅する映像や急激に変化する映像を制作することが可能です。このような映像は、視聴者の身体へ影響を与える可能性がありますので、制作時には、特にご留意ください。

### ■ 廃棄のときは

本機のご使用を終え、廃棄されるときは環境保全のため、専門の業者に廃棄を依頼してください。

# 1. 各部の名前とはたらき

## 1-1. 制御パネル部



### 1-1-1. カメラコントロール部

### 1-1-2. スイッチャー部

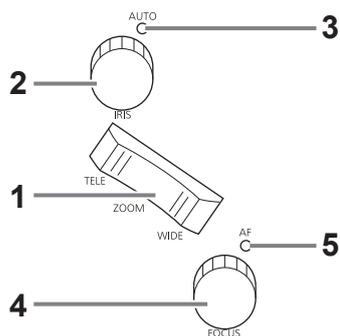
### 1-1-3. オーディオ部

### 1-1-4. メニューコントロール部

### 1-1-5. グラブ&ストリーム/レコード部

### 1-1-6. ジョイスティック部

### 1-1-1. カメラコントロール部



#### 1. [ZOOM] ボタン

ネットワークに接続されているカメラのズームを調節します。  
[TELE] ボタンを押すと拡大(ズームイン)し、[WIDE] ボタンを押すと縮小(ズームアウト)します。

#### 2. [IRIS] ツマミ

カメラレンズのアイリスをマニュアルで調整します。  
・右に回すと開く方へ、左に回すと閉じる方へ動作します。

#### 3. [AUTO] ランプ

アイリスの自動調整が有効なときに赤色に点灯します。  
・カメラ側のアイリス設定(自動/マニュアル)をご確認ください。  
詳しくは、カメラの取扱説明書を参照してください。

#### 4. [FOCUS] ツマミ

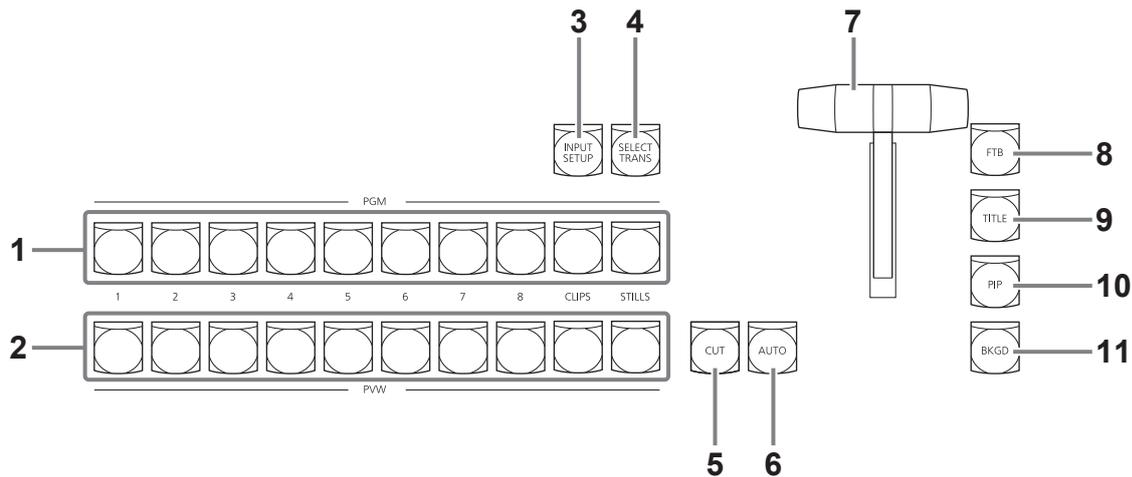
カメラレンズのフォーカスをマニュアルで調整します。  
・右に回すと遠くへ、左に回すと近くへフォーカスが移動します。

#### 5. [AF] ランプ

フォーカスの自動調整が有効なときに赤色に点灯します。  
・カメラ側のフォーカス設定(自動/マニュアル)をご確認ください。  
詳しくは、カメラの取扱説明書を参照してください。

# 1. 各部の名前とはたらき (つづき)

## 1-1-2. スイッチャー部



### 1. プログラムバス選択ボタン

#### [PGM 1～8/CLIPS/STILLS]

プログラム出力をするビデオソース(背景)を選択します。  
選択された映像信号のボタンが赤色に点灯します。

### 2. プレビューバス選択ボタン

#### [PVW 1～8/CLIPS/STILLS]

プレビュー出力をするビデオソースを選択します。  
選択された映像信号のボタンが緑色に点灯します。

### 3. [INPUT SETUP] ボタン

入力するビデオソースを設定します。

- [INPUT SETUP] ボタンを押すと、メニューコントロール部のLEDディスプレイにビデオソースのリストが表示されます。メニュー選択ボタンで入力するビデオソースを選択します。

### 4. [SELECT TRANS] ボタン

ビデオレイヤーのトランジションを選択します。

- [SELECT TRANS] ボタンを押すと、メニューコントロール部のLEDディスプレイにトランジションのプリセット番号が表示されます。メニュー選択ボタンで使用するプリセットを選択します。

### 5. [CUT] ボタン

選択されているすべてのビデオレイヤー(タイトル、ピクチャーインピクチャー、ビデオソース)に対してストレートカットを実行します。

### 6. [AUTO] ボタン

選択中のビデオレイヤーに割り当てられたトランジションを実行します。

- トランジションを実行中に[AUTO]ボタンを押すと、操作を停止できます。もう一度押すと操作が完了します。

### 7. フェーダーレバー

選択中のビデオレイヤーを制御します。

### 8. [FTB] ボタン

プログラム出力を黒画面にフェードします。

### 9. [TITLE] ボタン

タイトルページの表示を制御するときに押します。

### 10. [PIP] ボタン

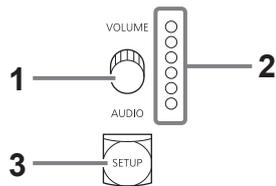
ピクチャーインピクチャー(PIP)の表示を制御するときに押します。

### 11. [BKGD] ボタン

ビデオソースの表示を制御するときに押します。

## 1. 各部の名前とはたらき (つづき)

### 1-1-3. オーディオ部



#### 1. [VOLUME] ツマミ

音量レベルを調節します。

#### 2. 音量ランプ

音量レベルを表示します。

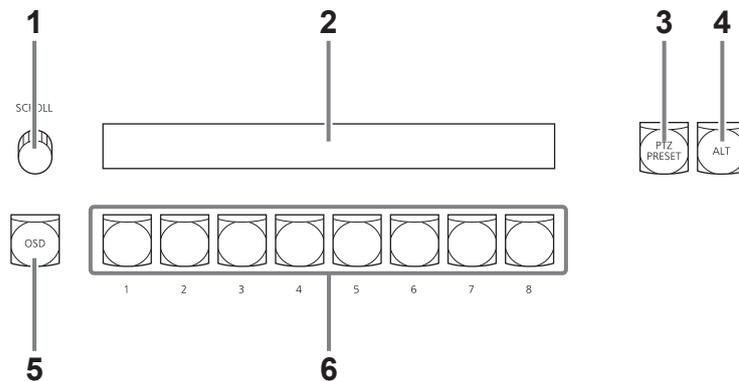
- ・赤色点灯時は、クリッピングが発生したことを示しています。

#### 3. [SETUP] ボタン

各オーディオチャンネルの設定を行います。

- ・[SETUP] ボタンを押すと、メニューコントロール部のLEDディスプレイにオーディオソースのリストが表示されます。メニュー選択ボタンでオーディオソースを選択し、必要な設定を行います。

### 1-1-4. メニューコントロール部



#### 1. [SCROLL] ツマミ

LEDディスプレイの表示ページを切り替えます。

- ・ツマミを回すとページが切り替わり、押すと前の表示に戻ります。

#### 2. LEDディスプレイ

各種メニューを表示します。

- ・Live操作(Live Desktop) GUI画面の入力設定パネル([カラー]タブ)と同じメニューが表示されます。

#### 3. [PTZ PRESET] ボタン

ジョイスティックで制御しているカメラのプリセットリストを、LEDディスプレイに表示します。

#### 4. [ALT] ボタン

メニューコントロール部の機能(PTZ PRESETなど)を操作する際に使用します。

#### 5. [OSD] ボタン

ネットワークに接続されているカメラのOSDメニューを表示します。

- ・メニューコントロール部のボタンやツマミを使ってOSDメニューの設定を変更できます。

#### 6. メニュー選択ボタン

LEDディスプレイに表示されているメニューやオプションを選択します。

## 1. 各部の名前とはたらき (つづき)

### 1-1-5. グラブ&ストリーム/レコード部

#### 〈NOTE〉

- 下記2種のボタンについては、NewTek社から提供される本機用のプラグインソフトをインストールした場合のみ有効になります。詳細は、当社Webサイト (<https://pro-av.panasonic.net/manual/jp/index.html>) に掲載されている取扱説明書 (PDF) を参照してください。



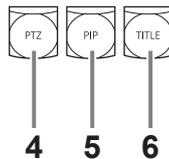
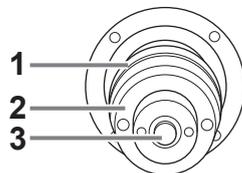
#### 1. [GRAB] ボタン

プログラム出力から静止画をキャプチャします。

#### 2. [REC/STREAM] ボタン

Live操作 (Live Desktop) GUI画面のダッシュボードにあるSTREAM / RECORD 機能を切り替えます。

### 1-1-6. ジョイスティック部



#### 1. ジョイスティック

[PTZ]、[PIP]、[TITLE]の各ボタンの機能を制御します。

#### 2. 調節リング

リングを回して、トップボタンで選択した機能 (ズーム/フォーカス) を調節します。

#### 3. トップボタン

押すごとに、調節リングの機能 (ズーム/フォーカス) が切り替わります。

#### 4. [PTZ] ボタン

メニューコントロール部の各ボタンを使用して制御するカメラを選択します。

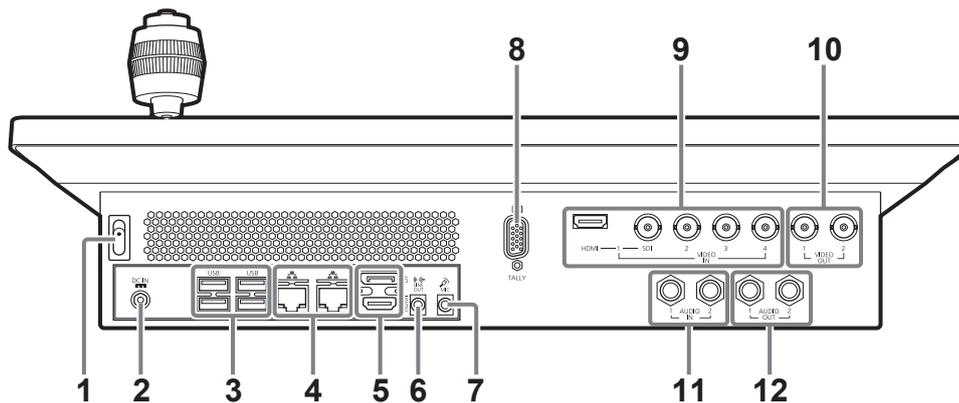
#### 5. [PIP] ボタン

ジョイスティックを使用してピクチャーインピクチャー (オーバーレイ) の移動やサイズ変更を行います。

#### 6. [TITLE] ボタン

ジョイスティックを使用してタイトル (オーバーレイ) の移動やサイズ変更を行います。

## 1-2. 背面部



### 1. 電源スイッチ

「●」ボタンを押すと、電源が入り本体が起動します。  
電源を切るときは、再度「●」ボタンを押します。

### 2. 電源入力端子

付属のACアダプターを接続します。

### 3. USB 端子

キーボードやマウスを接続します。

### 4. LAN 端子 (RJ-45)

LANケーブルを使ってローカルネットワークと接続します。

### 5. HDMI/DP 端子

HDMIケーブルまたはDisplay Portケーブルを使って外部コンピュータのモニターと接続します。

### 6. [LINE OUT] 端子

オーディオを出力します。

### 7. [MIC] 端子

オーディオを入力します。

### 8. [TALLY] 端子

外部タリールイトなどのデバイスを接続します。

- ・外部タリールイトはVIDEO入力1～4に切り替えた場合のみ出力します。ネットワークで接続したカメラの場合は出力しません。詳しくは取扱説明書を参照してください。

### 9. ビデオ入力端子

外部機器からビデオ信号 (HDMIまたはSDI) を入力します。

### 10. SDIビデオ出力端子

外部機器にSDIビデオ信号を出力します。

### 11. アナログオーディオ入力端子

外部機器 (オーディオミキサーなど) からアナログオーディオ信号を入力します。

### 12. アナログオーディオ出力端子

外部機器にアナログオーディオ信号を出力します。

# 1. 各部の名前とはたらき (つづき)

## 1-3. Live操作 (Live Desktop) GUI画面

本機が起動すると、背面部のHDMI/DP端子に接続されているモニターに、Live操作 (Live Desktop) GUI画面が表示されます。制御パネルおよびこのGUI画面を使用して映像制作を行います。GUI画面には下記3種類の表示エリアがあります。



### 1. ダッシュボード

Fileメニュー、Optionメニュー、AUDIO MIXERボタンがあります。

### 2. モニター

8チャンネルの外部ビデオ入力および内部素材の表示に加え、プレビュー出力やプログラム出力が表示されます。各オーディオ信号は、モニター画面にレベルメーターで表示されます。また、入出力映像、クリップ、静止画、タイトルを設定したり、カメラを制御することもできます。

### 3. スイッチング

プログラムバスとプレビューバスの映像切り替えや、トランジション効果とタイトルの制御を行います。



### 3. 定格

---

電源 : DC (==) 19 V (16.2 V - 22.8 V) (ACアダプター使用時) 消費電力: 110 W
--

--

 は安全項目です。

動作周囲温度 : 0 °C ~ 40 °C

動作周囲湿度 : 10 % ~ 90 % (結露なきこと)

外形寸法 (幅 × 高さ × 奥行き)  
: 427 mm × 93 mm × 278 mm (突起部含まず)

質量 : 約 6.05 kg (オプション未装着時、付属品を除く)

#### ■ ACアダプター

入力 : AC (〰) 100 V - 240 V, 50 Hz/60 Hz, 1.8 A 出力 : DC (==) 19 V, 6.32 A
--

--

 は安全項目です。

動作周囲温度 : 0 °C ~ 40 °C

動作周囲湿度 : 20 % ~ 80 % (結露なきこと)

外形寸法 (幅 × 高さ × 奥行き)  
: 151.3 mm × 75.6 mm × 25.4 mm

質量 : 約 450 g

海外で使用する場合は、その国に合ったACコードを準備してください。
-----------------------------------

### 〈無料修理規定〉

- 取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った使用状態で保証期間内に故障した場合には、無料修理をさせていただきます。
- 無料修理をご依頼になる場合には、お買い上げの販売店にお申し付けください。
- この商品は出張修理させていただきますので、修理に際し、本書をご提示ください。
- 保証期間内で次の場合には原則として有料にさせていただきます。
  - (イ) 使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷
  - (ロ) お買い上げ後の取付場所の移設、輸送、落下等による故障及び損傷
  - (ハ) 火災、地震、水害、落雷、その他天災地変および公害、塩害、ガス害（硫化ガスなど）、異常電圧、指定外の使用電源（電圧、周波数）などによる故障および損傷
  - (ニ) 他の接続機器及び接続部材に起因して生じた故障及び損傷
  - (ホ) 一般使用環境以外（例えば、強震、高温などの場所）に使用された場合の故障及び損傷
  - (ヘ) 取扱説明書に指定する摩耗性の部品、あるいは付属品の故障及び損傷
  - (ト) 本書のご提示がない場合
  - (チ) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合
  - (リ) 離島または離島に準ずる遠隔地へ出張修理を行なう場合の出張に要する実費

- 故障、その他により正常に記録ができなかった場合のデータ補修・記録内容の補償、及び営業上の機会損失等の損害に対する補償は致しかねます。また本機を修理した場合においても同様です。
- 本書は日本国内においてのみ有効です。
- 本書は再発行いたしませんので大切に保管してください。

#### 修理メモ

製造番号をご記入ください。

- ※ お客様にご記入いただいた個人情報（保証書控）は、保証期間内の無料修理対応及びその後の安全点検活動のために利用させていただく場合がございますのでご了承ください。
- ※ この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって、保証書を発行している者（保証責任者）、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。
- ※ 保証期間経過後の修理や補修用性能部品の保有期間については、取扱説明書をご覧ください。
- ※ This warranty is valid only in Japan.

## 4. 保証とアフターサービス（よくお読みください）

故障・修理・お取扱い・メンテナンスなどのご相談は、  
まず、**お買い上げの販売店** へ、お申し付けください。

お買い上げの販売店がご不明の場合は、当社（裏表紙）までご連絡ください。

※ 内容により、お近くの窓口をご紹介させていただく場合がございますので、ご了承ください。

### ■ 保証書

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ずお確かめの上、お買い上げの販売店からお受け取りください。

内容をよくお読みいただいた上、大切に保管してください。

万一、保証期間内に故障が生じた場合には、保証書記載内容に基づき、「無料修理」させていただきます。

保証期間：お買い上げ日から本体1年間

### ■ 補修用性能部品 3年

当社では、このライブプロダクションセンターの補修用性能部品を、製造打ち切り後、3年間保有しています。

※補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

### 修理を依頼されるとき

この取扱説明書を再度ご確認の上、お買い上げの販売店までご連絡ください。

### ■ 保証期間中の修理は...

保証書の記載内容に従って、修理させていただきます。保証書をご覧ください。

### ■ 保証期間経過後の修理は...

修理により、機能、性能の回復が可能な場合は、ご希望により有料で修理させていただきます。

### ■ 定期メンテナンス（保守・点検）

定期メンテナンス（保守・点検）は、お客様が安心して機器をご使用いただくために、定期的に必要なメンテナンスを行い、機器の機能を常に良好な状態に維持するためのものです。

部品の摩耗、劣化、ゴミ、ホコリの付着などによる突発的な故障、トラブルを未然に防ぐとともに、安定した機能、性能を維持するために、定期メンテナンスのご契約を推奨いたします。

なお、メンテナンス実施の周期、費用につきましては、機器のご使用状況、時間、環境などにより変化します。

定期メンテナンス（有料）についての詳しい内容は、お買い上げの販売店にご相談ください。

#### ご連絡いただきたい内容

品名	ライブプロダクションセンター
品番	AV-HLC100
製造番号	
お買い上げ日	
故障の状況	

Panasonic

出張修理

## ライブプロダクションセンター 保証書

本書はお買い上げの日から右記期間中故障が発生した場合には  
(無料修理規定)の記載内容で無料修理を行うことをお約束する  
ものです。ご記入いただきました個人情報の利用目的は(無料  
修理規定)に記載しております。お客様の個人情報に関する  
お問い合わせは、お買い上げの販売店にご連絡ください。詳細  
は(無料修理規定)をご参照ください。

パナソニック株式会社 コネクティッドソリューションズ社  
〒571-8503 大阪府門真市松葉町2番15号 TEL (06) 6901-1161

品番	AV-HLC100
保証期間	お買い上げ日から 本体 1年間
* お買い上げ日	年 月 日
* お客様	ご住所 _____ お名前 _____ 様 電話 ( ) —
* 販売店	住所・販売店名 _____ 電話 ( ) —

ご販売店様へ \*印欄は必ず記入してお渡しく下さい。

パナソニック株式会社 コネクティッドソリューションズ社

〒571-8503 大阪府門真市松葉町2番15号 ☎ (06) 6901-1161

© Panasonic Corporation 2018